

岐阜いちご『濃姫』を育てている西垣ファームを訪問しました
(2016. 2. 22)

岐阜いちご『濃姫』を使用した商品開発は、今年で6年目を迎えます。この商品開発には、ラ・パティスリーりぼんさんを始め、多くの企業や団体の協力により進められてきました。また、商品開発に使用している、いちご『濃姫』は、岐阜市のJAいちご部会で育てたものを使用しています。

2月22日(月)放課後、いちご『濃姫』を育てている、岐阜大学の北側にある『西垣ファーム』を訪ねました。20ヘクタールあるハウスには、約13,000本ものいちごの苗が植えられ、12月から5月にかけて、岐阜市茜部にある岐阜市中央卸売市場や、愛知県、富山県にも出荷されています。農園主の西垣さんからは「岐阜特産品のいちご『濃姫』の美味しさを、多くの方々に知ってもらうため、これからも商品開発を通してPRしてください。」と励ましの言葉を頂きました。



摘み取り体験を通して、生産者の思いや岐阜いちご「濃姫」の美味しさを知り、商品開発に生かします。



「初めて摘み取り体験を行いました。」



「摘み取りは、最初は難しく感じましたが、とても楽しかったです。」



いちごの摘み取り時には、「プチッ」と歯切れのよい音が響きわたります。

